

南相馬市復興事業等の主な進捗状況について (平成30年3月15日現在)

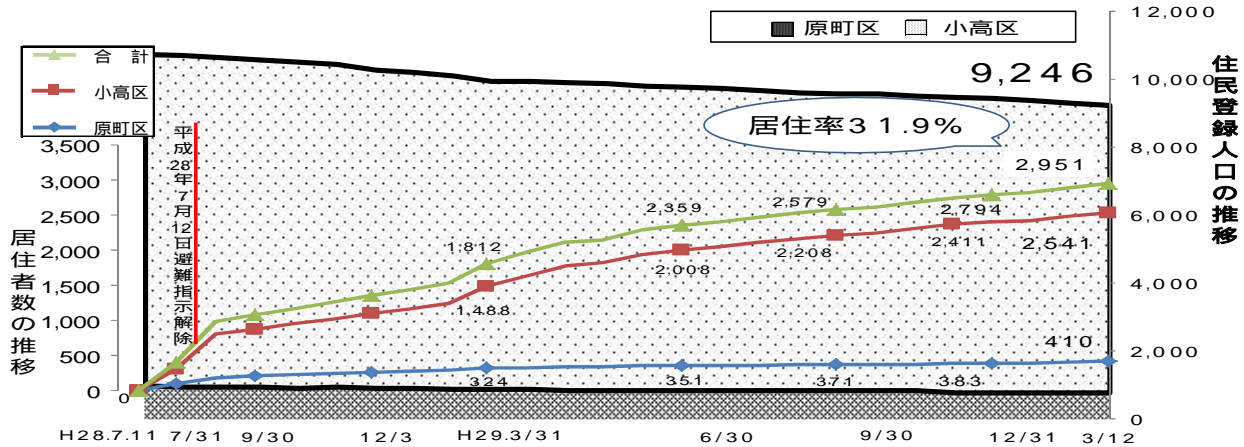
(1) 居住人口 (平成30年3月12日現在)

上段:()世帯、下段:人口

住民登録状況 H23.3.11	住民登録状況 H30.3.12	市内居住状況				市外居住状況
		うち旧避難指示区域内	旧避難指示区域	避難指示区域内	旧避難指示区域外	
(24,039) 71,561	(23,770)	(3,197)	(1,308)		(20,647)	(1,815)
	61,228	9,246	2,951	31.9%	51,480	6,797

(2) 旧避難指示区域内

(参考) H27 国勢調査確定値 57,797 人



(3) 園児数

(単位:人)

区分	H28.4.1	H30.3.1 ()は前月		
	園児数	園児数	対前月	待機児童
保育園	629	<u>731 (732)</u>	<u>1</u>	<u>132 (128)</u>
幼稚園	559	<u>613 (616)</u>	<u>3</u>	
計	1,188	<u>1,344 (1,348)</u>	<u>4</u>	

(4) 小学校児童数・中学校生徒数

(単位:人)

区分		H28.4.6 在籍者数	H29.4.6 在籍者数 (1学期開始日)	対前年
小学校	小高区	92	62	▲30
	鹿島区	527	556	+29
	原町区	1,549	1,540	▲9
	計	2,168	2,158	▲10
中学校	小高区	89	67	▲22
	鹿島区	309	286	▲23
	原町区	892	912	+20
	計	1,290	1,265	▲25

(5) 高等学校定員・在籍者数

(単位:人)

区分	H28.4.11 現在		H29.4.11 現在	
	定員	在籍者数	定員	在籍者数
小高産業技術高等学校	商 240、工 400	商 151、工 329	680	503
原町高等学校	480	465	480	472
相馬農業高等学校	360	229	360	259
相馬農業高等学校飯館校	120	69	120	63
相馬高等学校	600	587	600	560
相馬東高等学校	480	473	480	470
新地高等学校	240	171	240	178

参考資料

復興事業の優先的実施（最重点方針１）

進捗有無

「ロボットのまち南相馬」の推進		
1	ロボット実証実験支援事業助成金	（商工労政課）
2	ロボット導入促進事業補助金	（商工労政課）
3	ロボット産業推進事業	（商工労政課）
4	ロボット活用スクールチャレンジ事業	（教育総務課）
5	南相馬市復興工業団地整備事業	（商工労政課）
人材確保策の推進		
6	保育士等人材確保事業	（幼児教育課）
7	市立総合病院院内保育所整備事業	（総合病院） 有
産業の再生と振興		
8	地域ブランド品開発・地域活性化推進事業	（農政課） 有
9	鳥獣被害防止緊急対策事業	（農政課） 有
10	プレミアム付事業再開・帰還促進券発行事業	（商工労政課） 有
再生可能エネルギーの活用促進		
11	再生可能エネルギー導入推進事業	（新エネルギー推進課）
放射性物質対策の推進		
12	除染実施区域の除染事業	（環境回復推進課）
13	除染特別地域の除染事業	（環境省）
14	農業水利施設等保全対策事業	（農林整備課）
15	放射線被ばく検診事業	（健康づくり課） 有
16	個人積算線量計等緊急整備事業	（健康づくり課） 有
旧避難指示区域の再生（最重点方針２）		
生活環境の整備		
17	小高区復興拠点施設整備事業	（小高区地域振興課）
18	小高区商業施設整備事業	（小高区産業建設課）
19	小高区買い物環境支援事業（昼空市）	（小高区産業建設課）
20	小高区仮設店舗開設事業（東町エンガワ商店）	（小高区産業建設課）
21	旧避難指示区域等河川環境整備事業	（土木課）
22	有害鳥獣焼却施設整備事業	（生活環境課）
医療体制の確保		
23	遠隔診療システムを活用した在宅診療	（小高病院） 有
子育て環境の整備		
24	小高区認定こども園整備事業	（幼児教育課）
小中学校における特色ある教育環境の整備		
25	小高区小中学校復興教育推進事業	（学校教育課）
定住促進する取組		
26	防災集団移転元地等活用ビジョン策定事業	（企画課）

「ロボットのまち南相馬」の推進

1 ロボット実証実験支援事業助成金（商工労政課）

事業概要：

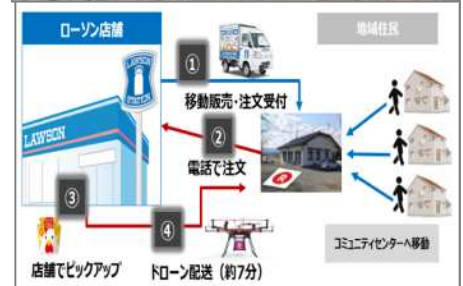
ロボット実証実験を実施する事業者への助成

助成率 1/2 以内（助成限度額 20 万円）

助成対象見込 12 社

助成件数 5 件

うち実証実験内容 ドローン実証実験 5 件



2 ロボット導入促進事業補助金（商工労政課）

事業概要：

ロボットを導入した市内事業者への補助

補助率 1/2 以内（補助限度額 100 万円）

南相馬ロボット産業協議会会員企業が開発・製造したロボット導入に限る

助成件数 3 件

うち導入機器 ドローン 2 件

マッスルスーツ 1 件



3 ロボット産業推進事業（商工労政課）

事業概要： ロボット産業セミナー開催、関連企業の誘致活動の実施
進 捗：

平成 29 年 10 月 10 日：南相馬市ロボット産業セミナー（東京都：都市センターホテル）
参加者数 212 名

4 ロボット活用スクールチャレンジ事業（教育総務課）

事業概要：

Pepper（人型ロボット）を市内全小中学校に配置し、Pepper を使ったプログラミング教育の成果を競う南相馬市大会開催と優勝校による全国大会への出場

ソフトバンクグループ株式会社「Pepper 社会貢献プログラム
スクールチャレンジ」を活用（東北地方では南相馬市のみ採択）

完了目標： 平成 29 年度から 3 年間

進 捗：

平成 29 年 1 月：原町第一中学校へ先行導入（試験運用）

3 月：市内全小中学校へ配置

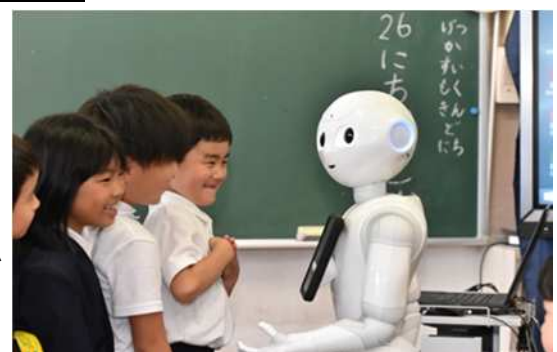
4 月：ロボット・ドローン教室で子供のプログラミング成果を披露

4 月：教職員向け講習会の実施

5 月：授業開始

12 月：南相馬市スクールチャレンジ代表校選考委員会の開催

平成 30 年 2 月：スクールチャレンジプログラミング成果発表会（全国大会）出場
（石神第一小学校、原町第三中学校）



5 南相馬市復興工業団地整備事業（商工労政課）

事業概要：原町区渋佐・萱浜地区に工業団地を造成する。

福島県が整備する「福島ロボットテストフィールド」
「国際産学官共同利用施設」を活用し、ロボット関連産業を市の主要産業に成長させる。

完了目標：平成 30 年度末

（平成 29 年度中 一部供用開始）

進 捗：	平成 24 年度	測量、地質調査、基本計画を作成。
	平成 25 年度	基本設計 12 月完了。埋蔵文化財調査 3 月完了。
	平成 26 年度	第 1 期造成工事発注 平成 29 年度未完了予定
	平成 28 年度末	第 2 期造成工事発注 平成 30 年度未完了予定
	平成 29 年度	福島ロボットテストフィールド整備一部着工予定(福島県)
	平成 30 年度	福島ロボットテストフィールド一部供用開始予定



人材確保策の推進

6 保育士等人材確保事業（幼児教育課）

事業概要： 保育士等養成学校訪問（5 月下旬～7 月予定）
養成校における就職説明会参加、合同就職説明会の開催（年 2 回予定）
市内保育施設等への実習生の積極的な受け入れ（通年）

進 捗：	5 月下旬～6 月	保育士等養成学校訪問
	7 月 8 日、29 日	県内合同就職説明会参加（いわき市、福島市）
	10 月 13 日	保育士就職フェアいわき短期大学学内セミナー参加
	11 月 5 日	保育士就職フェア参加（福島会場）

7 市立総合病院院内保育所整備事業（総合病院）

事業概要： 【院内保育所の整備】

・名称

南相馬市立病院院内保育所
おひさま

・施設規模

定員 30 名
木造平屋建（新築）
床面積 267.15 m²

（乳幼児室 1 室、保育室 2 室、調理室、トイレ、シャワー室、洗濯室等）

完了目標：平成 30 年度 4 月 1 日開所（予定）

進 捗：平成 29 年度 建築工事实施（12 月工事竣工）、管理運営準備（受託業者決定、平成 30 年 1 月～3 月 準備業務実施等）



産業の再生と振興

8 地域ブランド品開発・地域活性化推進事業（農政課）

事業概要：

地元農林水産物や6次産業化商品の販路拡大に向け、消費者ニーズに対応した商品の開発、南相馬ブランドの構築等の取組を支援。

南相馬市6次産業化・地産地消実行協議会の開催

新商品（試作品）開発、試作品の商品化及び既存商品改良への支援

補助対象者：農業者・事業者グループ等、補助率 1/2 以内（上限額 100 千円）

コンテスト（6次産業化商品・地元食材料理）への支援

補助対象者：民間団体、補助率 定額（上限額 1,000 千円）

販路開拓・拡大（商談会・品評会等出展）への支援

補助対象者：農業者・事業者グループ等、補助率 1/2 以内（上限額 100 千円）

地域ブランド品開発への支援

補助対象者：南相馬市地酒生産推進協議会、補助率 定額（上限額 1,000 千円）

進 捗：

開催状況

- ・南相馬市復興アドバイザー講演 平成 29 年 9 月 25 日
- ・6次産業化に取り組む事業者グループからの取組内容説明及び協議会委員からのアドバイス

第1回	平成 29 年 9 月 25 日	2 グループ
第2回	平成 29 年 11 月 2 日	2 グループ
第3回	平成 29 年 12 月 20 日	1 グループ
第4回	平成 30 年 1 月 30 日	1 グループ

支援件数 3 件

- ・既存商品（パック餅）のロゴマーク作成及びパッケージデザインの改良
- ・生乳を加工したアイスクリームの試作品開発
- ・唐辛子を加工したラー油の試作品開発

支援件数 1 件

- ・平成 30 年 3 月 10 日開催の「南相馬 6 次産業化地産地消フェア」への支援
- ・フェアでは、講演、パネルディスカッション、調理実演、6次産業化商品のコンテストを実施

支援件数 1 件

支援内容：南相馬市産米を原材料とした地酒づくりを通じて、安全・安心な地酒の販売に取り組むとともに、その取り組みを全国にPRすることで、南相馬市における農業の再生と振興を図る南相馬市地酒生産推進協議会への支援。

9 鳥獣被害防止緊急対策事業（農政課）

事業概要： 有害鳥獣ハザードマップの情報提供等対策

進 捗： 平成 29 年 2 月 19 日 業務委託契約

平成 29 年 3 月下旬 ハザードマップの随時更新、市民への情報提供

10 プレミアム付事業再開・帰還促進券発行事業（商工労政課）

事業概要： 市内全域を対象に事業参加を希望する店舗等で利用できるプレミアム付事業再開・帰還促進券発行

額面 1.5 万円 / 冊 1 万円で販売（プレミアム率 50%）

購入可能冊数 1 人最大 6 冊 / 実発行冊数 77,491 冊

利用金額 11 億 6,019 万 9,000 円

利用期間 7 月 22 日～平成 30 年 1 月 8 日

進 捗：

4 月 13 日 実行委員会の設立
事業計画（事業実施要綱）承認

4 月 15 日 商品券取扱店の募集開始

5 月 15 日 第 2 回実行委員会開催
商品券販売期間及び場所の決定等

5 月 31 日 第 3 回実行委員会開催

6 月 1 日～21 日 商品券購入申込受付

7 月 22 日～8 月 9 日 商品券販売（引換）

7 月 22 日～平成 30 年 1 月 8 日 商品券利用期間



再生可能エネルギーの活用促進

11 再生可能エネルギー導入推進事業（新エネルギー推進課）

（再生可能エネルギー導入比率）

平成 29 年 3 月末現在 16.6%（前月比 0.2%増）

再エネ発電推計量 71,895MWh 一般家庭 19,970 世帯分（1 世帯使用量を年間 3.6MWh として算出）

区分	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度
目標値	4.9%	6.3%	7.7%	9.2%	19.7%
実績値	4.4%	5.5%	8.6%	13.4%	16.6%

（沿岸部大規模太陽光発電所）

発電所名(仮称)	発電規模	計画場所・面積	工事着手
南相馬真野右田海老太陽光発電所	45.5MW (59.9MW*)	真野地区(約 48ha)	28 年 5 月 運転開始 30 年 3 月予定
		右田・海老地区(約 58ha)	
南相馬原町東太陽光発電所	24MW (32.3MW*)	下渋佐・萱浜地区 (約 46 ha)	29 年 2 月予定 運転開始 30 年冬以降

*（ ）内はパネル出力

（沿岸部風力発電所）

- ・平成 25 年 6 月に S P C（株）南相馬サステナジー）設立。
- ・平成 26 年 2 月に環境アセスメント（特定環境影響評価）の手続き完了。
- ・海岸防災林造成事業等との調整を図り、保安林解除の手続き完了。
- ・平成 29 年 10 月下旬より風車設備の運搬開始、12 月中旬に風車建設工事完了。

発電所名(仮称)	発電規模	計画場所・面積	工事着手
万葉の里風力発電所	9.4MW (2,350kW × 4 基)	鹿島区南海老・北右田・ 南右田地区 (約 5,000 m ² × 4 か所)	29 年 4 月着工 運転開始 30 年 3 月予定

（公共施設再生可能エネルギー導入）

再生可能エネルギーの推進や、災害時における防災拠点施設等の最低限の機能維持を図るため、公共施設へ再生可能エネルギー設備及び蓄電池設備を導入する。

平成 29 年度導入分

施設名	設備容量		進捗状況
	太陽光	蓄電池	
原 町 第 一 中 学 校	20kW	20kWh	11 月工事完了
原 町 第 二 中 学 校	20kW	20kWh	12 月工事完了
原 町 第 三 中 学 校	20kW	20kWh	12 月工事完了
石 神 中 学 校	20kW	20kWh	11 月工事完了
鹿 島 中 学 校	20kW	20kWh	11 月工事完了
小 高 中 学 校	20kW	20kWh	12 月工事完了

平成 28 年度末までの導入実績

計 17 施設(小学校 12 校(小高区 3 校含まず)、市役所・区役所 3 施設、保健センター 2 施設)

放射性物質対策の推進

12 除染実施区域の除染事業（環境回復推進課）

事業概要： 市除染実施計画に基づき、市内において除染を実施し放射線量の低減に資する。

完了 計画に基づく一通りの除染は、平成 29 年 3 月末に概ね完了。

進 捗：除染実施率（平成 30 年 1 月 31 日現在）

区分	対象数量 ¹	実績数量	実施率	備考
宅地	18,678 件	18,678 件	100%	H29.11 月完了
フォローアップ除染 ²	130 件	130 件	100%	H29. 9 月完了
農地	3,899ha	3,899ha	100%	H29. 3 月完了
道路	912.8km	912.8km	100%	H28.11 月完了

1 辞退等を除く。

2 フォローアップ除染については、事後モニタリング等の結果を踏まえ環境省と協議を行い、実施する。

13 除染特別地域の除染事業（環境省）

事業概要： 環境省は、特別地域内除染実施計画（南相馬市）に基づき、旧警戒区域及び旧計画的避難区域において除染を実施し、放射線量の低減に資する。

完了 計画に基づく一通りの除染は、平成 29 年 3 月末に概ね完了。

進 捗：除染実施率（平成 29 年 3 月 31 日現在）

フォローアップ除染については **2月28日**現在

区分	対象数量 ¹	実績数量	実施率
宅地	4,500 件	4,500 件	100%
フォローアップ除染	433 件	425 件	98.2%
農地	1,600ha	1,600ha	100%
道路	270ha	270ha	100%
森林	1,300ha	1,300ha	100%

1 辞退等を除く。

14 農業水利施設等保全対策事業（農林整備課）

事業概要： 農業水利施設としてみため池機能を保全し、放射性物質対策に汚染されたため池内の土砂等の拡散を防止するための対策工を実施する。

進 捗：	基礎調査	詳細調査	対策工
平成 27 年度	486 箇所	109 箇所 (H27～H28)	-
平成 28 年度	-	191 箇所 (H28～H29)	30 箇所 (H28～H30)
平成 29 年度	19 箇所	-	49 箇所 (H29～H31)

15 放射線被ばく検診事業（健康づくり課）

事業概要： 南相馬市に住所を有する希望者等へ問診、ホールボディカウンター・ベビースキャンによる検査を行う。

進 捗：平成 29 年度実績

平成 30 年 2 月 28 日現在

区分	対象者数	受診者数	受診率	進 捗	
乳幼児	2,659 人	491 人	18.5%	4 月末に個別通知を発送 6 月から乳幼児用内部被ばく検査 (ベビースキャン)を開始。	
小学生 (集団)	1 回目	2,158 人	2,148 人	99.5%	1 回目 5 月開始 7 月終了
	2 回目	2,158 人	2,150 人	99.6%	学校検診 2 回目 11 月開始

中学生 (集団)	1回目	1,265人	1,247人	98.6%	1回目5月開始7月終了
	2回目	1,265人	<u>1,237人</u>	<u>97.8%</u>	2回目11月開始12月終了
市外避難小中学生		1,009人	<u>27人</u>	<u>2.7%</u>	・随時、申込受付 ・29年3月、申込書を広報紙と一緒に全戸配布
高校生相当		2,096人	<u>324人</u>	<u>15.5%</u>	
一般		70,256人	<u>2,695人</u>	<u>3.8%</u>	
合計			<u>延 10,319人</u>		割合:小数点第二位を四捨五入

対象者数：住民基本台帳の登録者数及び平成23年3月12日以降の転出者数、他市町村避難者に基づく

(平成29年3月31日現在)

16 個人積算線量計等緊急整備事業(健康づくり課)

事業概要： 個人線量計を貸与し放射線量を測定するとともに、健康教育(講演会、健康相談等)を実施する。

進 捗： 南相馬市放射線健康対策委員会

第1回 4月18日	29年度の委員会の方針、放射線健康調査系の事業概要を確認。 外部被ばく測定の結果通知の方法について検討した。
第2回 7月4日	28年度の内部・外部被ばく測定等結果について協議検討を行った。 評価結果 「ほとんどの測定者は、健康が心配される値ではない。」 【内部・外部被ばく測定等】 ・外部被ばく測定結果(28年度4回目) ・内部被ばく検診結果(28年度下半期分)、 ・乳幼児用内部被ばく検診結果(28年度分) 「南相馬市と他県の3市との外部被ばく線量比較結果」の協議、検討実施委員の中で評価中
第3回 10月3日	外部被ばく測定結果(29年度1回目)協議検討を行った。 評価結果 「ほとんどの測定者は、健康が心配される値ではない。」 「放射線に関する小冊子原稿内容」の協議、検討実施
第4回 1月9日	外部被ばく測定結果(29年度2回目)・内部被ばく検診結果(29年度上半期分)の協議検討を行った。 評価結果 「ほとんどの測定者は、健康が心配される値ではない。」

測定期間： 平成29年度

実施回数	貸与数	進 捗
1回目(4月~6月)	6,165人	線量計回収分析、結果発送済。
2回目(7月~9月)	6,400人	線量計回収分析、結果発送済。
3回目(10月~12月)	6,300人	<u>線量計回収分析、結果発送中。</u>
4回目(1月~3月)	6,142人	現在、測定中。

平成29年度 その他母子保健事業等での相談会実施実績：

参加者数合計 660人

対象事業	場 所	開催回数	参加者数
4か月児健診	<u>原町保健センター</u>	<u>11回</u>	<u>261人</u>
	<u>鹿島保健センター</u>	<u>6回</u>	<u>66人</u>
3歳児健診	<u>原町保健センター</u>	<u>11回</u>	<u>243人</u>
	<u>鹿島保健センター</u>	<u>6回</u>	<u>90人</u>

旧避難指示区域の再生

生活環境の整備

17 小高区復興拠点施設整備事業（小高区地域振興課）

事業概要：原子力災害による避難指示によって機能停止となった小高区の再生に向けて、住民が帰還し、安心して生活できる環境を整備し、復興の足掛かりなる復興拠点施設を整備する。

実施期間：平成 30 年 11 月（工事完了予定）

今後の予定：基本設計（平成 28 年 5 月末完了）

実施設計（平成 28 年 12 月発注）

建設工事（平成 29 年度発注予定）



18 小高区商業施設整備事業（小高区産業建設課）

事業概要：小高区の帰還住民の利便性の向上と街なかの賑わい、また帰還について検討している住民の帰還意欲を向上させるため、住民の多くが望んでいる食料品等小売店舗を整備する。

完了目標：平成 30 年度（平成 30 年度中の開店を目指す）

進捗：平成 28 年度 地質調査、基本計画

平成 29 年度 用地取得、実施設計、建設工事

平成 30 年度 供用開始予定

19 小高区買い物環境支援事業（昼空市）（小高区産業建設課）

事業概要：避難指示が解除された小高区の買い物環境の向上を図るため、移動販売車が小高浮舟ふれあい広場に集合し、昼空市を開催する。

営業時間：午後 0 時 30 分から 1 時間
毎週水曜日

取扱商品：青果・鮮魚・果物
平成 30 年 2 月 14 日現在 3 事業者



20 小高区仮設店舗開設事業（東町エンガワ商店）（小高区産業建設課）

事業概要：避難指示解除準備区域等に指定されていた小高区において、帰還住民の生活基盤を確保し、帰還促進を図るため、平成 27 年 9 月に開設した生活必需品等を販売する仮設店舗を運営する。

店舗営業時間：午前 9 時から午後 8 時まで（日曜定休）

取扱商品：食料品（肉・野菜等の生鮮食品を含む）飲料品、弁当、酒類、たばこ、日用雑貨等

21 旧避難指示区域等河川環境整備事業（土木課）

事業概要： 旧避難指示区域内の河川の除草を実施

進 捗： 平成 29 年度 旧避難指示区域内の河川除草 L = 33,700m
(工期：平成 29 年 8 月 8 日から平成 30 年 3 月 31 日)
平成 30 年度 旧避難指示区域内の河川除草 L = 3,000m

22 有害鳥獣焼却施設整備事業（生活環境課）

事業概要： 原子力災害以降、増加したイノシシについては駆除対策を行っているが、捕獲頭数の増加及び埋設処理の困難性という課題に直面していることから、捕獲有害鳥獣（イノシシ等）専用の焼却施設を整備する。

完了目標： 平成 30 年度 (平成 31 年度の稼働を目指す)

進 捗： 平成 29 年度 測量調査設計、建設工事
平成 30 年度 完了

医療体制の確保

23 遠隔診療システムを活用した在宅診療（小高病院）

事業概要：

看護師が患者宅にタブレット持参で訪問し、病院内のパソコンで医師と通信して患者に対して医師がディスプレイ越しに健康指導や診療を行う。

進 捗： 平成 29 年 5 月 18 日開始

利用件数 40 件（平成 30 年 3 月 15 日時点）



子育て環境の整備

24 小高区認定こども園整備事業（幼児教育課）

事業概要： 小高区住民の帰還を促進するとともに、小高区内の幼稚園・保育園の魅力を高め、子供たちが通いたくなるような環境を確保するため、幼稚園と保育園の機能を合わせ持つ認定こども園を整備する。

完了目標： 平成 31 年度中 (平成 32 年 4 月開園)

進 捗： 平成 28 年度 基本設計、地質調査
平成 29 年度 実施設計、開発行為、外構設計、用地取得（予定）
平成 30 年度 造成工事、建設工事（予定）
平成 31 年度 建設工事、外構工事（予定）

小中学校における特色ある教育環境の整備

25 小高区小中学校復興教育推進事業（学校教育課）

事業概要： 小高区内公立小学校及び中学校が、長期にわたる避難生活や仮設校舎での学校生活を強いられた子どもたちにもたふさくを知ってもらい取り組みを推進すること、学校や地域の実態に応じてさらに魅力ある学校づくりを行うことで、帰還の促進を図る。

- ・小高区 4 小学校 講演会の開催、ドローン体験等
- ・小高中学校 講演会の開催、記念誌の作成等

定住促進する取組

26 防災集団移転元地等活用ビジョン策定事業（企画課）

事業概要： 防災集団移転促進事業移転元地等の活用方針に示された各地区内のうち、特に 100ha を超える土地が津波による大きな被害を受け、土地の迅速な活用が望まれる井田川地区について、防災移転促進事業等による移転跡地を含めた災害危険区域全体における土地利用計画を策定する。

完了目標： 平成 29 年度

進 捗：

4 月～10 月 ビジョン案検討

11 月 1 月 ビジョン策定

第 66 回市災害復興推進本部会議

